

同友 やまがた

よい会社をつくろう／よい経営者になろう／よい経営環境をつくろう



山形県中小企業家同友会
月刊 同友
やまがた



山形県副知事 若松正俊氏



講師 梶谷俊介氏

第33回定時総会

地域社会の主役としての自覚と誇りを持とう！
～経済を牽引するのは私達だ～

2017年度役員紹介

支部総会報告

第31回寒河江支部総会・第3回新庄最上支部総会

6月例会のご案内

地域社会の主役としての
自覚と誇りを持とう！
（経済を牽引するのは私達だ）

地域社会の主役としての自覚と誇りを持つとう！ ～経済を牽引するのは私達だ～



4月26日、パレスグランドールにおいて、山形県中小企業家同友会第33回定時総会が開かれました。2017年度は「地域社会の主役としての自覚と誇りを持つとう！～経済を牽引するのは私達だ～」のローガンのもと県内各地から会員が集い、記念講演には来賓・ゲスト参加者も含め240名が参加し、定時総会の参加記録を更新しました。



来賓としては山形県若松正俊副知事、山形財務事務所阿部修二所長、山形市山口範夫商工観光部次長兼雇用創出課長、中山町茅原秀弘産業振興課統括、山形県企業振興公社石澤義久理事長、日本政策金融公庫内田裕彦支店

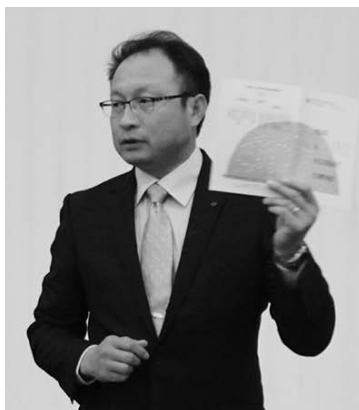
長兼事業統括課長、同じく岡伸一中小企業総括課長、同じく小林正良国民生活事業総括課長、山形県信用保証協会大沼義広常務理事、山形銀行武田昌裕常務取締役、同じく渡辺修平本店第一部長、荘内銀行橋本慶昭取締役執行役員兼山形営業部長、きらやか銀行東海林賢市常務取締役、同じく早坂徳四郎常務取締役、山形県信用金庫協会山口盛雄会長、山形信用金庫上島健司専務理事、鶴岡信用金庫佐藤祐司理事長、米沢信用金庫種村信次会長、連合山形設楽正事務局長にご臨席いただきました。

定時総会では西塔代表理事の挨拶の後、小林敏郎氏が議長に選出され、議事に入りました。2016年度活動のまとめについて西塔代表理事が報告を行い、越前屋副代表理事が決算報告、会計監査報告を奥山監事が行いました。

2017年度役員には23名の理事と2名の会計監事が選出され、代表理事に西塔秀幸氏と菅原茂秋氏、副代表理事に後藤智樹氏と越前屋忍氏、専務理事に齋藤志直氏が再任されました。

2017年度活動方針案については西塔代表理事の全体概要の提案後、5つの委員会の委員長と2つの部会の部会長が方針と計画を説明し採択されました。続いて2017年度予算案が満場一致の拍手で承認されました。

その後、2017年度から2019年度の3年間を展望する第3次中期ビジョンが後藤副代表理事より発表されました。後藤氏は科学性の企業像として「健全に成長できる企業」を掲げたことに



触れ、各企業の現在の立ち位置によって健全の捉え方が違ってくるとし、一人では気づかないことに気づくことができる学びの場としての山形同友会像、経営者には心も体も健全さが求められ、協力してもらっているという優しさ・思いやりの心で社員・家族を大切にしようという人間性の経営者像について強調しました。

そして、「5年ごとにビジョンを作成してきたが、目まぐるしい国内外の情勢により景況が大きく変化する事が予想されることから今回は3年とした。大切なのはこのビジョンをこうなっているということにしなければならない。同友会運動も経営と同じです。そのために毎月、各支部・委員会・部会の内容・参加数の目標設定と振り返り、入会者目標と実績などを理事会に報告し、共有することと、年1回は作成した委員で進捗を総括していきます。皆さん、なくてはならない企業にしましょう。



そのために同友会運動を広めていきましょう」と語りました。

記念講演の開会セレモニーでは菅原代表理事が参加された方々にお礼の挨拶を述べた後、若松山形県副知事より来賓挨拶をいただきました。



引き続き行われた記念講演では「社員の可能性を引き出す経営者の役割～社員教育は社長教育～」と題して、梶谷俊介氏(岡山トヨタ自動車(株)代表取締役社長・中同協社員教育委員長・岡山同友会常任相談役)に講演いただきました。

1991年に入会した梶谷氏は人材育成のため岡山同友会の社員研修に社員を参加させていただけでしたが、社員教育委員長となり活動する中で「社員教育の真髄は社員教育を通じて経営者が育つこと」に気づいたといいます。労使見解をはじめ同友会の社員教育の考え方を学び、実践してきたことから「教育方針としてめざす人物像・めざす教育の在り方を経営指針に盛り込み明示すること」「教え込むのではなく社員自らが気づき成長しようとする可能性を引き出すこと」を提起しました。

その上で「社員も経営者も地域に暮らし、会社の中に役割があるように地域社会にも役割がある。経営者が大人を育て切れていない」とし、現在の子どもの問題にも触れ「社員一人ひとりの人生に自分が影響を与えていることを自覚しているのか。地域に影響があることを自覚しているのか。どこまで未来を意識しているのか。かわりあいの中で人は育つが、会社の枠の中に納めようとしていないか」と経営者の責任を問いかけ、「自ら



の可能性を信じて中小企業に誇りと自信を持って発信していこう」と呼びかけました。

そして、「一人ひとりがどう生きるか、そこに会社をどう位置付けるか。一人ひとりが自分の時間を、自分の持ち味を生かし社会で生きるために経営者としてどう経営するのか。経営者は不完全で足りないところを助けてもらっている。社員が会社以外でも輝ける場を提供しなければならない。家庭・会社・地域とバランスが取れ、いい人生であることを次の世代に発信し続けられれば地域も生き活きとしてくる」と語りました。

第3部の懇親会は小川実行委員長挨拶、山形市商工観光部の山口次長より来賓挨拶があり、山形銀行の武田常務の乾杯で始まりました。

懇親会の中では齊加食農部会長から「食品ロスを減らす取り組みとして乾杯後15分と閉会前の10分を着席して食に感謝して食事を楽しみましょう」という運動が提唱されました。初の試みについて参加者からは「同友会らしい懇親会での取り組み」と好評でした。

最後に佐藤第14回経営研究集会実行委員長が締めくくりに挨拶を行い、和やかに閉会しました。



2017年度 役員

(敬称略)

役 職	氏 名	企 業 名
●理事		
相談役理事	川合勝芳	(株)曙印刷
代表理事	西塔秀幸	西塔社会保険労務士事務所
代表理事	菅原茂秋	(株)ティスコ運輸
副代表理事	後藤智樹	寒河江物流(株)
副代表理事	越前屋忍	(有)アド・プランニング越前屋
専務理事	齋藤志直	サイトウ自然環境(株)
理事	菊池幸生	(株)菊池技建
理事	小川大輔	(株)カーサービス山形
理事	阿部和人	田宮印刷(株)
理事	小林敏郎	(株)朝日測量設計事務所
理事	玉津弘之	(株)タマツ
理事	赤塚治美	(株)Hair with Water
理事	齊加義三	齊加商店
理事	阿部秀顕	(株)山形ピッグファーム
理事	斎藤源	(株)オネテック
理事	阿部敦	(有)若葉建築
理事	武内賢二	ソーラーワールド(株)
理事	庄司薫	(株)菓子工房COCOイズミヤ
理事	板垣一紀	(株)板垣水道
理事	八代昌弘	(株)八代鋳金
理事	田中雅樹	(有)グリーンショップ花恵
理事	佐藤啓	(株)サニックス
理事	佐藤淳	(株)アルファ・コム
●会計監事		
会計監事	奥山享	(有)奥山経営センター
会計監事	半澤清彦	(株)半澤鶏卵

第31回寒河江支部総会

まず来てける！気づきはそこから



5月は支部総会が行われます。各支部のトップをきって5月16日、ホテルシンフォニー本館を会場として第31回寒河江支部総会が開催され、31名が参加しました。

第1部の総会では、「まず来てける！気づきはそこから」をスローガンに、同友会活動への参加を第一とした2017年度活動方針が決まりました。経営者が同友会活動への理解を深め、気づきの中から問題の課題化と解決を図る支部をめざします。

活動の先頭に立つ役員として、支部長には阿部敦氏、副支部長には穂積勇人氏と井田進一郎氏が再任されました。

第2部の記念講演では「企業はなぜ存続しなければならないのか？存続する為に何をしなければならないのか？」と題して、宮城同友会の株式会社伸電 代表取締役 佐藤弘樹氏を講師に



お迎えし、社員から事業を承継した経験をもとにご講演頂きました。

1991年に(株)伸電へ入社した佐藤氏は原田前社長と出会い「この人となら人生を共にできると直感した」といいます。

現場と営業で経験を積み役員となった佐藤氏は2003年に社長より「次の社長は佐藤さん」と発表され、宮城同友会の第14期経営指針をつくる会に参加。そして、就業規則・社員持ち株会・旅費規程・定款の見直しを社長と相

談しながら進めていきます。しかし、2005年に若手社員の反発があり、7名が退職し、19名の会社が12名になります。また、あるお客様からは「佐藤さんが社長になったらお付き合いをやめるかもしれない」と言われたこともあり、非常にきつい思いをした時期もありました。そして、2007年に社長就任した佐藤氏は税務調査や東日本大震災を経て社長としての自覚と責任がでてきたと振り返り、腹を決めて全て受け入れるといろいろなことが気にならなくなると語りました。

その体験から佐藤氏は事業承継で大切なこととして、

- ・株の準備や社内のコンセンサスなどで計画的な承継は時間が必要である。
- ・譲る側は譲る決心をして期限を決めること。口も手も出さないが決して目を離さないこと。
- ・受ける側は良いことも良くないことも全て受け入れ経営者になる決心をすること。細かい個人的なプライドを捨て社員や取引先のことを最優先で考えることを挙げました。

佐藤氏は「同友会の三つの目的と共育ちを大切に、経営指針をつくり採用して社員教育をして新しい仕事づくりをしている。半歩先行く技術とサービスの提供で、30年後のメンテナンスも私がやりますという社員教育をしたい。事業承継は社員教育の延長です」と述べ、最後に創業者からの学びとして「腹を割って心を通わせること」「全ての原点は想いです、考える」「リーダーは明確なビジョンを示す」「勇気を持って決断する」「会社経営はムカデ競争による駆逐です。心を一つにすること」を紹介し、会場は大きな拍手に包まれました。



第3回新庄最上支部総会

自身の質を向上させ、自社の成長と共に、豊かな地域経済をつくろう！



5月17日、ニューグランドホテルを会場として第3回新庄最上支部総会が開催され、21名が参加しました。

総会では、「自身の質を向上させ、自社の成長と共に、豊かな地域経済をつくろう！」をスローガンとして、例会づくりを柱に支部づくりに取り組む2017年度活動方針が採択されました。役員には田中雅樹氏が新たに支部長となり、副支部長には涌井洋一氏、佐藤奈緒氏が決まりました。

新支部長となった田中氏は「3回目の総会を迎え、同友会の活動が分かり始め、よちよち歩きから立って歩くことができるようになった。自分の研鑽は勿論だが学びと気づきを会社に持ち帰り成長させていく。それが豊かな地域社会に繋がっていく。‘人は学びと成長を繰り返すもの’と、ある方に言われた。同友会の良さもそこにある。たくさん学んで気づいて成長していこう」と挨拶しました。

記念講演は、六郷小型貨物自動車株式会社 代表取締役社長 近藤哲泰氏（秋田同友会）より「『脱赤字』から社員と共に『夢をめざす』企業への挑戦 ～黒字企業への歩みと次代を担う人としての責任～」と題して、経営体験をお話し頂きました。



近藤氏は大手商社勤務を経て平成5年に後継者として同社に入社。当時の会社は規制緩和の影響で非常に厳しく、コンサルタントから「瀕死の重症」と言われるほどでした。何とかしようと値上交渉をするものの「下請は生かさず殺さず」と言われ、応じてくれません。それならコストを削減しようと会社の現状を家庭に例えて社員に説明し、事故防止・整理整頓・節約を呼びかけます。同時に「直接取引」「毎日運ぶ」という切り口で飲食料メーカー等の新規開拓に取り組んだ結果、赤字体質を脱却すること

ができました。

平成16年になると燃料の高騰等の影響で経営状況が悪化。組合に賞与は夏も冬も出せないと告げると、「夏は分かるが、今から冬も出せないと言ったら社員の士気が下がる」と言われ、目先のことしか考えていない自分に気づいたといいます。

年々飲食料関係の取扱量の減少から人口減少を実感。短期的にはよくても続かない危機感と未来への不安を抱くようになっていた近藤氏は社長就任の平成22年に秋田同友会へ入会。その後、経営指針づくりに参加します。ここで、理念の大切さ、社員を説き伏せ押し付けていたこと、親・業界・地域と人のせいにしていたことに気づかされます。そして、修了生から「あなたの夢は辛そう」と指摘された時、人口減少していく将来の地域に悲観してあきらめている自分を痛感。少子高齢化・人口減少を改善したい、子ども達の笑顔があふれるようにしたいという夢のために、自分の事業で何ができるのかを考えるようになりました。

そして、運送会社の強みを生かし社員と共に新しい取り組みを始めました。その一つが社員の発案からの楽器の運送。現在、ヘルパー資格を持った社員を活かしたホームサービス、尿素水の製造、また県内の運送会社と新しい会社をつくり、広告などを車に直接プリントする事業を展開しています。

近藤氏は「全ては子ども達の笑顔あふれる地域にしたいという使命のため。経営者の仕事は経営指針でビジョンを描き計画を立て、採用し、人が育つ会社をつくること。同友会では仲間をつくること。みんな地域に対して何かしたいと考えている。同友会を通してやることが出来る。変化はチャンス。会社でも同友会でも仲間として楽しく取り組んでいきたい」と語りました。

参加者からは「企業づくりは地域づくり」「理念の共有が地域を活性化していく」と共感の声が寄せられました。



6月例会のご案内

・どの支部の例会にも参加できます。・月に一度は参加しましょう。

山形支部

社員とのコミュニケーションが社内改善の第一歩 ～より良い人間関係の構築を目指して～

2017.6.26 (月) 18:30～21:00

場所：山形テルサ 2階 リハーサル室
山形市双葉町1丁目2-3 ☎023-646-6677

報告者：厨ダイニング 代表 佐藤奈緒氏

15年前に地元に戻り母と一緒に創業し、多くの苦労があったが、順調に成長していた。しかしながら、ただただ毎日の繰り返しで、「お客様への感謝」に気づけずいた。マイナス思考の自分と向き合い、生きる意味さえ考える日々。結婚をきっかけとして本気で経営と向き合うようになった。そんな折、同友会新庄最上支部の立ち上げにご縁があり入会。経営指針を受講し、労使見解を学び、社員と向き合うことの大切さ、経営者としての自覚をもった。しかしながら実践するもうまくいかない。「やりがいをもって仕事が楽しいと思える店創り」に、チャレンジし続ける、佐藤社長の報告です。

○グループ討論テーマ 「社員と向き合い、同じ方向で仕事をしていますか？」
(社内外情報を共有し、プラスに働いているか)

寒河江支部

仲間を知る会～まず呑むべ～

2017.6.12 (月) 19:00～21:00

場所：串揚げ寒河江だるま
寒河江市本町2-1-53 ☎0237-86-4657

参加費：4,000円

2017年度寒河江支部スローガンは「まず来てける!気づきはそこから」です。会員同士が学び合い、かかわり合い、お互いの経営課題に気づき合う活動に取り組んでいきます。

6月例会では第1弾として、会員交流の場として「仲間を知る会」を開きます。まずは「お互いを知ること」から始めます。

より多くの方と語り合う場です。お誘い合わせの上、お気軽にご参加ください!

さくらんぼ支部

あなたの会社に活用できる補助金はこれだ!(仮)

2017.6.28 (水) 18:30～21:00

場所：さくらんぼタントクルセンター
東根市中央1-5-1 ☎0237-43-1155

講師：税理士法人あさひ会計 中小企業診断士 山口幸弘氏

さくらんぼ支部6月例会のテーマは「補助金」です。講師に税理士法人あさひ会計より中小企業診断士の山口幸弘氏をお招きし講演いただきます。また、今回の例会ではグループ討論は行いません。講演と質疑応答・意見交換会とどなたでも気軽にご参加できる内容です。ぜひ、お誘い合わせの上ご参加お願い致します。

詳細につきましては別途案内チラシにてご案内致します。

置賜支部

企業変革支援プログラムで自社の課題を掴もう!

2017.6.23 (金) 18:30～21:00

場所：アクティー米沢
米沢市西大通1-5-5 ☎0238-21-5655

事例報告者：(株)長沢建設 代表取締役 長澤武氏
(株)菓子工房COCOイズミヤ 代表取締役 庄司薫氏

同友会には経営に役立つ様々なツールがあります。その一つである「企業変革支援プログラム」では、自社の立ち位置を確認することができます。現状を変えるには、まず自社の健康診断です。6月例会では長澤氏と庄司氏の活用事例を交えて、自社をチェックします。

年1回企業の健康診断に取り組み、課題を浮き彫りにし、経営体質の強い企業づくりを行いましょ。

庄内支部

ひとりひとりがワクワクする会社をめざして ～制度より風土が大事～

2017.6.21(水)18:30～21:00

場所：鶴岡市総合保健福祉センター「にこ♥ふる」
鶴岡市泉町5-30 ☎0235-25-2731

報告者：(株)サニックス 代表取締役 佐藤啓氏

2010年、M & Aにより(株)サニックスが誕生。その後、社長に就任した佐藤氏は、歴史も企業文化も全く違う二つの会社の社員が目的を一つにして進むため「第19期経営指針をつくる会」で経営指針書を作成。日々、社員の事を第一に考え、一人ひとりが各部門で輝いて仕事をされています。社長の思いや考え、方針を常に伝え共有することで社員の意識が変わっていきます。

ネジを回すという事の一つ先に真の価値があり「クルマの声を聞こう」等のメッセージも大変興味深い思いを感じます。地域・関係企業・社員家族・関わる人みんなが会社のファンになり、「共育」共に育ちあう良い環境を企業風土にしたいと考える、佐藤社長の報告です。

【共に育ち合う良い環境「風土」を考え合う例会】

○グループ討論テーマ「社員の個性を活かす風土はできていますか？」

新庄最上支部

伸びる会社の創り方(計数の活かし方)

2017.6.27(火)18:30～21:00

場所：新庄信用金庫文化ホールレキシントン
新庄市本町2-9 ☎0233-22-4222

講師：(有)奥山経営センター 代表取締役 奥山享氏

少子高齢化・人口減少・技術革新など、どんなに大きく変化していく時代にあっても経営者には企業を存続発展させていく責任があります。

新庄最上支部6月例会では山形より奥山享税理士を講師に迎え、経営者が抑えるべき損益計算書・貸借対照表のポイントと生産性向上のための視点を提起していただきます。

低成長時代に何をめざし、会社を成長させていくのかを考え合います。今の時代必見です。お誘い合わせの上、ご参加ください。

第1回理事会報告

◆日時:2017年5月10日(水)午後3時~午後5時 ◆会場:山形県産業創造支援センター ◆議長:越前屋副代表理事
◆出席者:(敬称略)西塔、菅原、越前屋、齋藤、菊池、阿部(和)、小林、赤塚、齊加、阿部(秀)、阿部(敦)、武内、庄司、板垣、八代、田中、佐藤、事務局 矢作、後藤

■開会挨拶

西塔代表理事が「役員になってよかった」「総会決議に照らし合わせて活動してほしい」と、理事会運営規定、小冊子「同友会がよくわかる」に触れ、「私たちは自分の会社を良くする為、自分が成長するために会です。結果として自分に戻ってくるという関係で役員活動をお願いしたい。同友会理念に基づいて活動を展開して決めたことを一緒にやっていく。この一年間よろしくお願ひしたい」と述べました。

■報告事項

1)第33回定時総会の報告(越前屋副代表理事)
小川実行委員長をはじめとした実行委員の頑張りにより参加登録者が246名で総会として過去最高の参加数、テレビや新聞も取材に来て良い総会だったと報告しました。
*5/12に第6回実行委員会を開催し、6月理事会にまとめと収支を報告します。

2)各委員会・部会よりの報告

【社員共育委員会】(阿部理事)

①合同入社・新入社員研修のまとめでは新社会人としての心構え、マナーを伝える事が出来た。フォローアップ研修は9月25日に設定②委員会の開催時間は17:30開会に変更③幹部社員研修は第1講7月13日 第2講10月12日に設定④労働環境改善について各社の事例を出し合い学んだ⑤初めて新卒採用した企業からどう教育していけばいいかという問題提起がなされ、討論した。時代の要請である働き方改善は社員の満足度に大きく影響する。働きがいの話は良く出るが、働きやすさについても学び自社の改善へとつなげていきたい。

【経営指針委員会】(菊池理事)

経営指針をつくる会で今期から取り入れた社内でのキックオフ宣言は社員に理解を求めるのに効果があることを確認し、第2講と第3講のタイムスケジュールを決めた。学習会ではメンバーのキャッシュフロー計画書をもとにした事例から学び合った。第22期経営指針をつくる会は第2講を開催し、「労使見解を深め合う」「経営理念、ビジョン、自社分析の検討」を行い、経営者としての覚悟と姿勢について振り返る機会となった。

【共同求人委員会】(佐藤理事)

委員会に山形大学より松坂先生と横井氏が参加。山形大学インターンシップに関する説明と依頼(43名受講)、履修者と企業アンケートの分析結果の説明があり、今年度の課題を共有した。採用活動では、山形大学と東北芸術工科大学で学内説明会を行うこと、宮城同友会の共同求人委員会、6月の宮城同友会合同企業説明会に委員会として参加することを決めた。新卒採用が厳しさを増す中で会員企業の熟練の高まりと、学校や宮城同友会との連携の成果が会員を増やすことにも繋がることを感じた。

【地域活性化委員会】(齋藤専務理事)

①新庄市での中小企業振興条例アンケートは現在78社が回答。新庄最上支部とも連携して100社をめざす。②2017年度中小企業憲章・条例学習会は(株)ワイ・グループ 佐藤社長を講師に迎え白石市の事例に学ぶことが決まった。日時は7月18日(火)で地域を活性化するために中小企業憲章・条例をどう生かすか目的に学び合う予定。

【女性部】(赤塚理事)

第1回女性部例会は平成28年度山形いきいき子育て応援企業「優秀(ダイヤモンド企業)企業認定を受けた(有)菅原運送」菅原社長を報告者に迎え、男性社員の育児休暇・介護休暇など、社員の幸せを大切にしたい取り組みからライフ・ワーク・バランスを学ぶ予定。ライフ・ワーク・バランスの機運を同友会内に広めていく一年目として講師を探している。良い情報があれば提供をお願いしたい。

【食・農部会】(齊加理事)

エネルギー学習会の開催要項の検討と若手農業者との学習会を進めるための意見交換を行った。天童市の農業者団体の会員にお越し頂きヒアリングを行い、具体的、有効的な学習内容を検討出来た。部会員の参加が少なく多様な意見が出にくいのが課題で、取り組み内容が充実してきているので、多くの参加者を巻き込むとのお話が見込まれる。

3)各支部よりの報告

【山形支部】(阿部(秀)理事)

入会目標2名に対し2名入会。第31回山形支部総会では「エネルギーソフトを通じた仕事づくり」をテーマに信幸プロテック株式会社 取締役会長 村松幸雄氏(岩手同友会代表理事)に講演していただき、エネルギーソフトを知り自社での活用を考える機会にした。

【庄内支部】(板垣理事)

第13回庄内支部総会では「経営は挑戦あるのみ!~ハングリーさこそ最高の原動力~」をテーマに新潟同友会の株式会社リンケージM.I.コンサルティング 代表取締役長谷川博之氏が講演する。

【置賜支部】(八代理事)

第21回置賜支部総会は中協事務局長の池田さんに、支部スローガンである「ビジョンを掲げ会社と地域の未来を拓こう」をテーマに講演していただき、あるべき姿であるビジョンづくりのポイントを学び合う。

【さくらんぼ支部】(武内理事)

4月退会1名。9月と2月に増強を強化する取り組みで6月の入会目標を決めた。第23回さくらんぼ支部総会は「縛らない働き方が会社を助けた」と題して、株式会社パブアニューギニア海産 工場長 武藤北斗氏が講演する。

【寒河江支部】(阿部(敦)理事)

第31回寒河江支部総会は「企業を受け継ぐ」と題して、株式会社伸電 代表取締役佐藤弘樹氏(宮城同友会)より講演頂き、事業継承をテーマに「企業はなぜ存続しなければならないか」「存続する為に何をしなければならないか」を掘り出す。

【新庄最上支部】(田中理事)

例会等の参加率アップの取り組みを進めたい。第3回新庄最上支部総会は「脱赤字」から社員と共に「夢をめざす」企業への挑戦と題して、秋田同友会の六郷小型貨物自動車運送株式会社 代表取締役社長 近藤哲泰氏にお話をいただき、「債務超過にどう向き合い取り組んできたのか」「同友会の学びを経営にどう活かしてきたのか」を学び合う。

■承認事項(入・退会承認) 2名入会 2名退会 412名

■討議事項

議題1:全国行事参加費補助について

西塔代表理事より提案され、下記のとおり承認されました。
・山形支部より出されていた支部予算から役員育成のために全国行事の参加費補助にあてることは、予算が通っているので支部に任せる。次年度より予算請求時に事業計画と一緒に提出すること。
・次代の役員育成を図るために次年度より全国行事の参加について県としても検討する。

議題2:2017年度役員研修会について

理事・支部幹事100%出席をめざすことを確認し、開催要項が決まりました。

●日時:8月18日(金) 13:30~17:00

●会場:山形県産業創造支援センター

●講師:国吉昌晴氏 中同協

議題3:中同協関係

1)2017年度中同協幹事には西塔・菅原代表理事、後藤副代表理事を確認

2)中同協各担当メンバーについては下記の方々を確認しました。

中小企業憲章・条例推進本部	西塔秀幸、越前屋忍
会 員 増 強	菅原茂秋、阿部秀徳、阿部敦、武内賢二、八代昌弘、板垣一紀、田中雅樹
政 策 委 員 会	越前屋忍、齋藤志直
共 同 求 人 委 員 会	玉津弘之、佐藤一夫、佐藤啓
社 員 教 育 委 員 会	阿部和人、小林敏郎
経 営 労 働 委 員 会	菊池幸生、小川大輔、鏡芳昭、服部正、成澤克志
女 性 部 連 絡 会	赤塚治美、五十嵐久仁子、笹林陽子

3)中同協第49回定時総会は参加目標の10名を呼びかけていくことになりました。

議題4:組織委員会より

菅原代表理事が「月次報告書の活用にあたって、各支部の方針も入れ可視化、退会人数も計算し、目標人数を立てること」「定時総会ゲストフォロー」「新会員オリエンテーション受講率100%めざしていく。7/26寒河江支部の同友会を知る会に講師依頼があり社員共育委員会の小林氏が担当、6/15の新会員オリエンテーションの経営体験は齊加氏、同友会理念について越前屋氏が担当」と報告しました。

議題5:会員名簿作成について

7月末の完成をめざして会員名簿を作成していくことが決まりました。

■その他

1)今後の行事予定

山形新卒者等就職・採用応援本部会議	5月15日(月)山形労働局
第31回寒河江支部総会	5月16日(火)ホテルシンフォニー
第3回新庄最上支部総会	5月17日(水)ニューグランド
第31回山形支部総会	5月18日(木)山形国際ホテル
山形労働局長来局(高校求人)の件	5月19日(金)同友会事務局
第13回庄内支部総会	5月24日(水)グランドエルサン
第21回置賜支部総会	5月26日(金)モントビュール米沢
第23回さくらんぼ支部総会	5月30日(火) まなびあテラス
第8回さくらんぼ経営者セミナー	5月31日(水) 滝の湯
中同協中小企業憲章キックオフ集会	6月6日(火) 東京
中同協第5回幹事会	6月7日(水) 東京
第20回女性経営者全国交流会	6月15日(木)~16日(金)富山
中同協第49回定時総会	7月6日(木)~7日(金)愛知
中同協第1回幹事会	7月7日(金)愛知

2)第2回理事会日程

●日時:6月14日(水)午後3時~午後5時 ●会場:ビッグウイング

■開会挨拶

菅原代表理事が「中長期に向けて学べる理事会、役員になって良かったと思える理事会にしたい。理事会自体も学びを深める場と認識し学び合い、より良い運営によって会員企業が繁栄し会員の笑顔であふれる同友会にすれば地域が発展し、持続可能な社会になる。議題を持ち帰り幹事会・委員会と語りあい、将来像を描ききる。思考は現実化する。描くからこそ目標は達成できる。厳しいご指摘もいただきながら進めていきたい。よろしくお願ひします」と語りました。

新会員紹介

◎小林 寛治氏
かんじ
合同会社ケーアイシー
保険代理店
山形支部

◎大江 藤之氏
株式会社サニックス
経営企画室室長・総務部長
自動車総合サービス
山形支部

会社名変更

- (株)トップ建材⇒(株)SRホーム
代表取締役 川越 功氏(山形支部)
- SOBAカフェ心那や⇒蕎麦心那や
代表 我彦 真由美氏(置賜支部)

役職変更

- (有)キュービット 代表取締役⇒代表取締役会長
伊藤 武昭氏(山形支部)

同友やまがた6月号(2017年6月1日発行/通巻291号)

From Editor



“知り合い、学び合い、援け合い”
山形県中小企業家同友会

〒990-2461 山形市南館三丁目26-26 スタジオ・アヴァン 102号
TEL(023)645-5500 FAX(023)645-5583
URL:http://yamagata.doyu.jp/ E-mail:info@yamagata-doyu.jp